

日本ケベック学会 2017 年度総会議事録

2017 年 10 月 7 日 (土) 17:15-18:00

早稲田大学早稲田キャンパス 8 号館 303-305 号室

議長に河野美奈子会員が選出された。

会員総数 110 名 (うち休会者 2 名) 中、出席 27 名・委任 81 名 (返信のなかった欠席者を含む) により、総会は成立した。

【報告事項】

1. 2016 年度活動報告

飯笹幹事長より、昨年 10 月以降の活動として以下が報告された。

- ・ 2016 年 10 月 7 日：第四期第 8 回理事会 (立教大学)
- ・ 2016 年 10 月 8 日：2016 年度全国大会および総会 (明治大学)
- ・ 2016 年 11 月 12 日：韓国成均館大学校で開かれた ACEQ 大会に杉原賢彦会員が参加
- ・ 2016 年 12 月 3 日：第五期第 1 回理事会および研究会 (青山学院大学)
- ・ 2017 年 1 月 21 日：AJEQ 西日本地区第 2 回研究会 (金城学院大学キリスト教文化研究所、ベルギー研究会共催) (金城学院大学サテライト)
- ・ 2017 年 4 月 8 日：第五期第 2 回理事会および研究会 (早稲田大学)
- ・ 2017 年 3 月：2016 年度「小畑ケベック研究奨励賞」受賞者 2 名によるケベックでの現地調査活動終了
- ・ 2017 年 5 月：会員名簿を更新、PDF で会員に配信
- ・ 2017 年 6 月 26 日～7 月 2 日：国際フランコフォニー学会 (CIEF) 第 31 回大会に本学会会員 7 名参加
- ・ 2017 年 7 月 15 日：第五期第 3 回理事会および研究会 (青山学院大学)
- ・ 2017 年 9 月：学会誌第 9 号刊行

2. 各部署報告

各部署より以下の報告があった。

渉外：在外研究中の伊達渉外委員長に代わって立花会長より、本年度の「小畑ケベック研究奨励賞」選考結果の発表があった。受賞者 2 名とその研究題目は以下の通り。

羽生敦子会員「ジャック・カルチエの旅と歴史観光資源としてのサン・ローラン河の可能性について」

松川雄哉会員「ケベックにおけるフランシザシオンと異文化間教育」

学会誌：廣松編集委員長より『ケベック研究』第 9 号刊行の報告があった。

第 10 号の投稿締切は 2018 年 1 月 15 日。

広報：大石広報委員より、HP・ブログ・ニュースレターについての報告があった。

3. 入退会報告

飯笹幹事長より、2016 年 10 月 1 日から 2017 年 10 月 6 日までの入退会者等について以下の報告があった。

入会 6 名、休会 2 名、退会 3 名。最新の会員数は 111 名 (ただし、審議事項 1 において承認された名誉会員としての入会分を含む)。

【審議事項】

1. 飯笹幹事長より名誉会員として竹中豊会員、前ケベック州政府在日事務所代表のクレール・ドゥロンジ顧問の2名が推薦され、採決の結果承認された（なお、ドゥロンジ氏は名誉会員としての入会となる）。
2. 2016年度決算・監査
関理事より2016年度の決算報告、加藤監事より監査報告が行われ、採決の結果承認された（別紙参照）。
3. 2017年度概算予算案
関理事より2017年度の予算案が示され、採決の結果承認された（別紙参照）。
4. 2017～18年度事業活動計画
飯笹幹事長より以下の活動計画が提案され、採決の結果承認された。
 - 年次大会（2018年10月）
 - 学会誌第10号発行
 - 研究会・講演会の主催・共催
 - 韓国ケベック学会との交流（2017年11月18日韓国カナダ大使館で開かれる大会に陶山宣明会員が参加）
 - 国際ケベック学会や国際フランコフォニー学会（2018年6月、ラ・ロシェル（フランス））への参加
 - ニュースレターの発行（年3回）
 - ブログ、フェイスブック、メーリングリストを通じた会員への情報発信
5. 第10回AJEQ全国大会開催校
丹羽企画委員長より、2018年10月6日（土）または13日（土）に愛知大学を第一候補として開催を予定していることが提案され、採決の結果承認された。

以上